

# 平成28年度 政策大綱

## 1 はじめに

昨年、日本創成会議が発表した「消滅可能性都市」を契機に、日本では人口減少社会の克服や、地方創生の取り組みへの機運が高まっています。

地方自治体では、産学官との連携により「地方版総合戦略」の策定を進めており、若い世代の就労・結婚・子育ての希望の実現や、大都市圏への一極集中の是正に取り組んでいます。まさに地方は、自治体の生き残りをかけた競争の時代がはじまったといっても過言ではなく、未来に向けた対応が、各地で急務となっています。

また、拍車をかけるように、超高齢社会の到来や少子化の進展により、健全財政の維持や、持続可能な地域づくりへの対応など、自治体が抱える課題は一層複雑化していくことが予測されています。当市においても、現在10万人の人口が、国立社会保障・人口問題研究所の人口推移によれば、2060年には約5万2千人まで減少するとの試算が示されており、この事実を見過ごす訳にはいきません。

当市では、この課題に取り組んでいくため、人口減少対策、地方創生の実現に向けた今後5か年の計画となる「総合戦略」の策定を進めています。

そして、これまで「少子化対策」「産業振興」「教育の充実」を掲げ、人口減少問題に取り組んできた実績を活かし、新たな課題に対応した効果的な政策を進めることにより、「住みよいまち日本一 健康田園文化都市・しばた」を実現していきます。

これからの行政運営は、限られた資源、財源の有効な活用が鍵であり、そのためには明確なビジョンを持ち、選択と集中によって、持続可能なまちづくりに取り組んでいかなければなりません。

まずは安定した生活基盤を目指し、誰もが安心して暮らせる環境を形成していくとともに、その魅力を県内外に伝え、交流人口の増加、そして、移住・定住へと繋げていく「選ばれるしばた」を確立します。

次年度からは、新たな「まちづくり総合計画」に沿った「新生しばた」を始動させ、また、「総合戦略」によって「未来を担う子どもたちのしばた」の持続的な繁榮に取り組んでいきます。この節目を契機とし、「住みよいまち しばた」の実現に向け、更なる一手を講じていきます。

## 2 大綱指針について

政策大綱では、将来都市像「住みよいまち日本一 健康田園文化都市・しばた」の実現に向け、今後のまちづくりにおいて重視すべき3つの視点を「大綱指針」として設定し、魅力あふれる「住みよいまち しばた」を創造します。

また、策定にあつては、市が抱える課題の重要性や緊急性を踏まえ、また、地域活力の強化と持続可能な地域づくりの観点により、人口減少対策、地方創生の実現に向けた4つの「市政運営方針」を設定しました。

### ○3つの大綱指針

#### 大綱指針 1

#### 少子化対策

若者世代の未婚化、晩婚化、また、子育て世代のライフスタイルの多様化が進んでいることから、より多くの若者が結婚、出産の希望をかなえ、そして、子育ての不安を解消し、子育てに喜びを感じることができる魅力的な環境づくりを進めます。

#### 大綱指針 2

#### 産業振興

市民の暮らしを支えていくためには、地域産業の定着と、安定した雇用が求められることから、本市の持つ豊富な地域の資源と特性を、最大限に活用した商工業、農業、観光などが連携した産業振興を進めます。

#### 大綱指針 3

#### 教育の充実

望ましい教育環境の実現と教育の質的向上に加えて、学校・家庭・地域が連携した教育を展開することにより、しばたの将来を担う子どもたちの学力向上と豊かな心、健やかな体を育成する教育の充実を進めます。

### ○4つの市政運営方針

「新発田の特色を活かした産業の高度化（安定した雇用を創出する）」

「地域資源・魅力を活かした交流から定住へ（地方への新しい人の流れをつくる）」

「しばた流「子育て支援サイクル」の確立（若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる）」

「市民が主役のまちづくり（時代にあった地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する）」

●経営基盤の強化による産業の育成

・新発田の基幹産業を担う農業者等の事業の定着と安定した収益の確保に向け、6次産業化や法人化への持続的な支援に取り組み、産業基盤の整備を図ります。

●起業支援と企業誘致

・地域に根付いた新たな産業の拡大と企業の安定経営を目指し、設備投資などの基盤整備や融資など、経営環境に対する支援に取り組むとともに、新たな起業家への支援体制を充実させるなど、企業誘致と更なる雇用の確保に努めます。

●雇用のマッチング・人材育成

・県内外の大学、企業、行政が連携し、雇用に向けた人材確保の機会を創出するとともに、社会人として必要な能力を有する人材の育成を推進します。

●誰もがやりがいを持って働ける多様な環境づくり

・正規職員の雇用や、女性に配慮した職場環境などの改善を図る企業を支援するなど、仕事と生活の調和のとれた社会（ワーク・ライフ・バランス）の実現を推進します。

●観光客・来訪者に楽しんでもらえる仕組みづくり

・多様化する観光ニーズや新たな視点を取り入れた観光の推進を図るとともに、年々増加しているインバウンドによる外国人観光客の誘客拡大を視野に入れた整備に取り組み、交流人口による経済効果の創出を図ります。

●スポーツ・文化資源を活用したツーリズムの推進

・競技力の向上や、合同合宿などに対応した快適なスポーツ施設の充実を図り、官民が連携した新たな運営体制を整備するなど、更なるスポーツ&カルチャーツーリズムを推進します。

●中心市街地の賑わい創出

・市街地の歴史や文化資源を活用した交流拠点の構築を進め、新庁舎や駅前複合施設の完成を契機とした新たな賑わいを創出します。

## ●地元就職・定住を促進する機会の創出

- ・県内外の学生や移住希望者に、新発田のあふれる魅力を伝えるため、移住・定住対策に向けた取り組みを進めるとともに、新発田の魅力を肌で感じてもらう機会の創出を図ります。
- ・県内外に、新発田のあふれる魅力を効果的、効率的にPRしていくため、時代とともに多様化するメディアや、新たな生活環境に対応した情報発信ツールの整備を進め、交流・定住人口の増加を図り「活力あるまちづくり」を展開します。

### 市政運営方針 3

## しばた流「子育て支援サイクル」の確立 (若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる)

### ●結婚の希望をかなえる

- ・若者の未婚化、晩婚化の流れを変えるため、独身男女の出会いの場や、結婚観、家庭観を醸成する機会の提供を推進します。

### ●安心して妊娠・出産できる支援の充実

- ・子育て世代の経済的、精神的負担を軽減する支援体制を充実させ、子どもを生み育てやすい安心、安全な環境づくりと地域づくりを目指します。

### ●安心して楽しく子育てできる環境づくり

- ・「子ども入院費の完全無料化」を推進するとともに、待機児童「ゼロ」の継続と、安全、安心な子育てができる環境づくりに向けて、引き続き取り組みます。

### ●子育てをしながら働き続けられる環境の整備

- ・保護者の仕事と子育ての両立が実現できるよう、放課後の居場所づくりなど、良好な子育て環境の整備を推進します。

### ●未来を担う「しばたっ子」の育成

- ・各小中学校の児童生徒が「分かる」「楽しい」と実感できる授業を展開し、学ぶ意識を高め、確かな学力を育成する教育を推進します。
- ・児童、生徒の豊かなこころや、生きがいを育む多様な学習活動が経験できる機会の充実を図ります。
- ・通学途中の事故や犯罪から子どもたちを守り、子どもたちが抱える「いじめ」や「不登校」、「貧困」などの問題解決に取り組み、健全な学校生活を送れるよう体制を強化します。

**●安心安全で快適な暮らしの確保**

・市内に点在する空き家の情報収集に努め、防犯、衛生環境の強化に取り組むとともに、災害時の更なる情報伝達体制の構築を進め、災害に強い「安心安全なまちづくり」を目指します。

**●だれもがいきいきと暮らせる地域づくり**

・ひとり親等の家庭が抱える経済的、精神的負担の軽減に取り組み、また、サポートが必要な高齢者の権利と財産を守り、地域で安心して自立した生活が送れるよう、包括的な支援を推進します。

**●持続可能な地域づくり**

・市民生活の快適性と利便性を高めるため、市街地道路整備や公共交通の再編に取り組み、生活環境の整備を推進します。

**●新発田の魅力創造**

・新発田が誇る貴重な歴史資料や文化財を大切に保管し、未来の子どもたちに引き継ぐための体制整備を引き続き推進します。

・古くから残る伝統や文化を継承し、市民が地域の郷土に対して理解と関心を深める環境づくりに取り組みます。

・中心地の核となる新庁舎、駅前複合施設の完成を契機に、市民や事業者との協働による賑わいの創出を図るとともに、大学等の連携による各種事業を通じた人材育成を展開します。